

【問 1】 二つの都市間を旅行するために、鉄道、航空という 2 通りの手段が利用可能である。それぞれの手段による運賃と所要時間は次の通り与えられる。

	運賃	所要時間
鉄道	12000 円	4 時間
航空	24000 円	2 時間

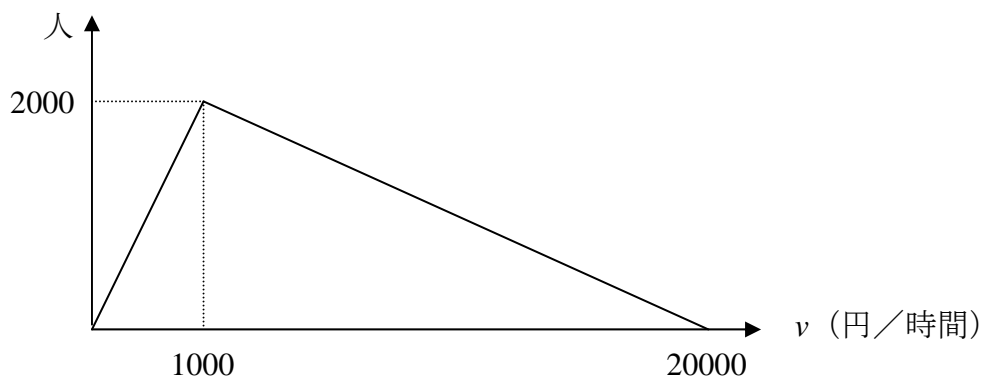
次の問に答えなさい。

1-1 個人の時間価値を v (円/時間) とする。鉄道と航空の一般化費用 (犠牲量とも言う) を書きなさい。

1-2 各個人は一般化費用が小さい交通手段を選ぶ。ある人の時間価値が 2000 円/時間の場合、この人は鉄道と航空、どちらを選択するか。

1-3 時間価値は個人ごとに異なる。このように異なる理由について書きなさい。

1-4 この二つの都市間の年間旅客需要は 2000 万人であり、これらの人々の時間価値は下の図のように分布するものとする。このとき、鉄道、航空の年間旅客需要はそれぞれいくらになるか。



1-5 上の問題で航空運賃が 20000 円になった場合、航空の年間旅客需要はいくらになるか。またこの結果から、航空需要の運賃弾力性を求めなさい。

【問 2】 下の問いに答えなさい。

2-1 鉄道輸送において規模の経済が存在することが知られている。鉄道に対する公的介入が必要な理由について説明しなさい。

2-2 鉄道輸送における最適な料金はどのようなものか。そのような料金の実施が困難である理由について述べ、次善の手段としての規制のあり方について述べなさい。